

2013年2月4日

一般社団法人 日本画像医療システム工業会

「第8回医療機器市民フォーラム」へ参加しました

一般社団法人 日本画像医療システム工業会（以下 JIRA、会長 小松研一）は、2013年2月2日に開催された「第8回医療機器市民フォーラム」（注）を特別協賛し、同フォーラムのテーマ「心臓の病気 予防・診断・治療の最前線」に関連した X 線循環器撮影システムや CT を用いた心血管治療の画像を関係会員企業の協力で展示コーナーで展示し、市民の皆様に画像医療システムが診断・治療を支える欠くことのできない存在で医療に貢献していることをお伝えしました。

（注）「医療機器市民フォーラム」については詳細は

<http://www.jfmda.gr.jp/metis/event/index.html> から参照下さい。

「医療機器市民フォーラム」は産官学が連携して平成13年に設立した「医療技術産業戦略コンソーシアム（METIS）」の一般市民向けの広報活動として医療機器の有用性や革新的な医療機器開発の重要性を広く国民にお伝えする目的で「日本医療機器産業連合会」と協同で主催するフォーラムです。毎年1回、疾患別のテーマで医療関係者の講演とパネルディスカッション、協賛団体、企業の展示を行います。今年で8回目となります。

市民、医療関係者、医療機器産業、関係官庁の参加者が一同に会して、最新の医療機器によって支援される医療について考える機会の一つとして同フォーラムは、社会に認知されるようになっていきます。

一般市民の方の医療への関心は高く年々参加希望者が増えています、今回は事前申込者1700名から850名を抽選、官公庁、医療関係者、医療機器産業など関係団体参加者も加え全体で総数900名の参加規模で開催致しました。

「第8回 医療機器市民フォーラム」は、「日本医療機器産業連合会」会員の日本画像医療システム工業会、日本医療器材工業会、日本医療機器工業会などの10産業団体、会員企業24社が協賛し開催されました。

JIRA は、高齢化社会へ急速に移行する中、社会のニーズに応え、健康管理から検診による疾病の早期発見・診断・治療を画像医療システムの提供を通して支援してまいります。

以上

【日本画像医療システム工業会について】

一般社団法人 日本画像医療システム工業会（JIRA）は、1924年設立以来、日本における放射線医療の発展とともに歩みつづけ、今日では、放射線機器・画像医療システム等を供給し、つねに先進の医療環境をサポートする178の会員会社を擁する産業団体に成長しました。

当工業会は、設立当初から業界標準化の推進や法規制問題、安全性問題等に幅広く取り組み、人々の健康と福祉に貢献してきました。高齢化社会への対応が急がれる21世紀。今後は、予防・健康管理から早期発見・診断・治療まで、医療機器とそれに伴うサービスやソリューションの範囲を、ますます広げていくことが使命であると考えます。当工業会会員各社は、画像医療システム産業を健全に発展させ、国民の健康と日本経済の発展に貢献できるよう一丸となって活動して行きます。

※JIRAは一般社団法人 日本画像医療システム工業会の商標です。

本資料に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本画像医療システム工業会 事務局 西口

産業戦略室 松本 TEL : 03(3816)3450